

2019年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	制度会計特論		担当教員	安藤 鋭也		
	英語授業科目名	Legal Financial Accounting		単 位	2	学 期	後期
対象年次	1・2年次	クラス指定	なし	他との関連			
履修条件	制度会計の基礎的知識を有していること。						
テーマ・副題	制度会計のあり方について。						
授業の教育目的・目標	皆さんの基礎的知識に基づいて、多方面から丁寧に制度会計の概要を理解します。制度会計の概要を理解した上で、望ましい制度会計のあり方を模索します。						
授業の理解度の到達目標	制度会計が抱える問題点や改善すべき課題を把握し、自分なりの制度会計のあり方を示すことが目標です。						
授業キーワード	トライアングル体制（会社法会計、金融商品取引法会計、法人税法会計）。						
授業の内容	制度会計の概要について、テキストを中心に具体的な事例も取り上げながら議論します。						
授業の方法	テキストを輪読します。発表は皆さんに順番で担当してもらいます。						
授業展開	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の企業会計 2. 企業会計のパラダイム(1)企業会計の本質とフレームワーク 3. 企業会計のパラダイム(2)会計制度の論理と体系 4. 企業会計のパラダイム(3)企業のディスクロージャー 5. 資源フローの会計(1)損益計算書のパラダイム 6. 資源フローの会計(2)経営パフォーマンスの測定と表示 7. 資源ストックの会計(1)貸借対照表のパラダイム 8. 資源ストックの会計(2)資産の会計 9. 資源ストックの会計(3)持分の会計 10. 公正価値会計(1)金融商品の会計 11. 公正価値会計(2)従業員給付の会計 12. グループ・グローバルの会計(1)連結グループの会計 13. グループ・グローバルの会計(2)企業結合・事業分離等の会計 14. グループ・グローバルの会計(3)グローバリゼーションの会計 15. 戦略的企業評価に向けて 						
成績評価方法	授業への取組み姿勢（40%）、発表内容のレベル（30%）、レポート内容のレベル（30%）から、総合的に評価します。						
成績評価基準	総合点が、80点以上をA、79～70点をB、69～60点をC、それ以下をDとします。欠席が1/3以上の場合は、Eとします。						
テキスト	伊藤邦雄『新・現代会計入門[第3版]』日本経済新聞出版社、2018年。						
参考図書	授業の中で適宜ご紹介します。						
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	発表を担当される方は、担当部分を十分に理解した上でレジメを作成して所要部数をご用意下さい。ご自分の意見や思いを、自分以外の皆さんにどう伝えるかも大切なポイントです。 発表を担当されない方は、テキストの予習・復習を通じて疑問点などを明確にしてご出席下さい。						
学生へのメッセージ	制度会計に関する事柄・事象に関心をお持ちの方は、どなたでもご参加下さい。授業における積極的かつ双方向の議論を心から歓迎します。						
オフィスアワー	火曜2時限、金曜2時限。						
連絡先	電話番号	0274-42-2828（内線：511）	メールアドレス	andou@jobu.ac.jp			
人数制限	特に定めない。						